

問 西森(常)議員
仁淀川茶戦略商品企画事業が成功すること、本町が生き残れると思うが夢のある話を。

答 企画課長

合併市町村の地域資源を活用し、地域振興を図る提案を募集する事業で100%の補助事業。
茶を家庭での飲用だけでなく、一般的なプレゼントに使う商品開発をリニールしながら販路拡大を図る提案をしている。

問 西森(常)議員
出産祝金で四子を五十万円に。

答 保健福祉課長



合併協議会で三子以上は五万円を十万円にした。直ちに何十万は難しいと考える。

問 西森(常)議員
ふたば保育所は木をふんだんに使い、自然採光、排水面とかエコ的ないいものを。

答 仁淀健康福祉課長



設計時点で極力夢のある建物にと考えている。

問 農本規仁議員

太陽光をふたば保育所に試験的に据えてみては。

答 仁淀健康福祉課長

補助制度があれば対応したい。

問 農本議員
九月議会で町外の職員

に関する決議をしたが、予算に反映しているか。

答 総務課長

反映していない。

問 農本議員

火災報知器で五三七万円計上の、住宅戸数とメンテナンスは。

答 町民課長



公営住宅二〇八戸に八五三個設置。日本消防協会認定規格品を使い、電池式で約十年もつようだ。

問 西森(常)議員

通信運搬費の節約を池川支所はどのように努力しているか。

答 池川住民課長補佐



町中は職員で、奥地のみを郵送。百通以上の町内郵便は安くなる制度を利用している。

問 西森(常)議員

測量設計を委託することで、職員の質が低下してはならないが、どのように努力しているか。

答 産業建設課長

土地登記、権利者確認調査、工事等の連続図、

境界確認、復元測量など特殊な委託以外は職員で対応している。

問 片岡議員

森山と安居郵便局の町との関係は。

答 総務課長

安居郵便局は今の方に直接郵便物が委託。森山郵便局は町の非常勤職員で対応。



来年は新しい保育園に移ります (ふたば保育所・森)



安居郵便局

問 片岡議員

システム導入委託料は補修費が必要か、導入したら終わるものか。

答 企画課長

町内地図の一元化を図る地図情報システムの導入で、メンテナンスなどに一定の費用がかかる。

問 片岡議員

システムは国がやればその後の財源は国が見てくれるのか。

答 企画課長

システムの導入は補助金があるが、保守、メンテナンスはない。

問 片岡議員

設計委託料がかなりの金額だが、建築であれば一級建築士の資格を職員に取らすことは。

答 副町長

トータル的にはコストの問題だが、現状は専門職を置くことは困難。

問 西森(常)議員

本町の中学校が魅力のある中学校づくりに努力

しているとは認識しがたい。

吾川を中心に日本一のソフト部作りはどうか。

答 教育長

子供たち、保護者にとり魅力ある学校とは基礎学力がきちんと着くことと部活が大きな選択肢になっている。

例えば仁淀中学校は柔道部があり、柔道をやり

たいと一人増える。地域で可能な魅力ある学校にしていきたい。

問 西森(常)議員

引地橋から、崎ノ山までは危険で歩道の設置を。

答 町長

以前から国土交通省へ要望している。危ないのは寺村トンネルの歩道で、今後も強気に働きをしていきたい。

問 野村議員

学校給食費の賄材料費、給食業務委託料の関係は。

答 教育次長

保護者からいただいた材料代と、農協に委託の調理、運搬の人員費。

問 片岡議員

体力増進事業委託の内容と、防災無線で町内全体的のラジオ体操はできないか。

答 総務課長



人間ドックの対象にならない職員の健診委託。旧仁淀村で病床のお年寄りなどからクレームがあり止めている。提案は今後検討したい。

(可決 全員)

■平成二十年度国民健康保険特別会計直診大崎診療所勘定予算

二億二八三四万二千円とするもの

全体から見れば職員の増であり反対。

反対討論 岡田良成議員

窓口業務を一度外注すれば、色々と問題を抱えてくるのでは。また診療所の職員が三人減だが、

賛成討論 福原克彦議員

国保運営協議会で十分に審議した結果であり賛成。

(可決 多数)



歩道の整備が急がれる引地橋



4月から受付業務が民間委託とされた大崎診療所

■財産の取得

田村多目的広場の用地取得で地権者と協議が調い契約を締結するため議決を求めるもの

問 大原議員

今この地域は、子どもの元気な声があるが、将来十分活用できるような検討の必要がある。構想を聞きたい。

答 企画課長

地元と話をし、単に子どもの遊び場でなく、産業面や地域の高齢者とのふれあいなど、将来性を見据えながら整備を進めたい。

問 大原議員

地域のことが第一ではあるが、公的資金も入るので意義を果たすよう検討を。

答 企画課長

国道四三九号に面しており、今後広く利用できる多目的な広場として整備するよう心掛ける。

問 大原議員

旧吾北の「道の駅むささびの里」は大変繁盛しており、売り上げは一億円超と聞く。これも構想に入れているか。

答 企画課長

大規模なものは構想にはないが、地域住民から野菜を売りたいという声も出ている。

四三九号の改良が完成すると役割も大きくなる。将来を見据え有効に活用できるよう考えたい。

(可決 多数)



道の駅「633美の里」(旧吾北)



はちきんの店 (佐川)

臨時会

平成二十年、第一回臨時会は、二月八日に開かれ、二報告、一議案を原案どおり可決した。

■専決処分の報告

工事名 平成十八年度十七年災102/33農道長屋線その二災害復旧工事
契約の相手方 (株)大一组

変更前の金額

七五六九万九七五〇円

変更後の金額

八〇四九万五一〇〇円

変更の理由

斜面の不安定箇所、ロックボルト工及び吹き付け工の追加のため

変更年月日

平成二十年一月二十一日

■専決処分の報告

工事名 平成十九年度町道大崎鹿森線改良工事
契約の相手方 (株)不二土木

変更前の金額

六〇九〇万円

変更後の金額

五八七九万五八〇〇円

変更の理由

落石防止網及び支障木の一部削減のため
変更年月日

平成二十年一月四日

■放課後児童健全育成条例の一部改正

冬休みや振替休日にも利用できるように、代休日の利用者負担額を月額七八〇〇円に改正するもの

(可決 全員)



地方の道路整備の財源確保に関する意見書

提出者 藤原 陽三

道路は、豊かな住民生活を支える最も基本的な社会基盤であり、高規格道路から市町村道まで「真に必要な道路」の体系的な整備が必要不可欠である。

町内は、防災上の危険ランクが特に高く、通行止めとなると「陸の孤島」となり、地域住民の不安は勿論、多くの課題と問題点を抱えている。国道33号の防災工事並びに地域高規格道路の整備も進められてはいるが、早急な整備が沿線住民にとっては欠かすことのできない重要な「命の道」となる。

地域間格差が益々増大していく中で、今日のままでは過疎高齢化は進行し無住地帯ができていくことは国土管理上からも問題となる。これらを解消していくためにも幹線道路の早期整備を願うものである。

毎年、多大な一般財源を投入している地方にとって、現行の税体系が大幅に変更されると、立ち遅れている地方の道路整備は多大な影響を受けることになる。地方の均衡ある発展と地域間格差の是正のための「真に必要な道路整備」がこれ以上後退することがないよう、次の事項を強く要望する。

道路特定財源の一般財源化反対

地方は、公共的な乗り物が少ないために、自家用車がなければ生活していけないにもかかわらず、地方の道路整備は随分遅れている。安全・安心に暮らしていくためには、「命の道」の整備は欠かせない。そのためにも、道路特定財源を一般財源化することなく、すべて道路整備に充てること。

道路特定財源諸税の暫定税率の維持

山間地域住民の日常生活の安全・安心など、必要不可欠な社会資本の整備を着実に進めるため暫定税率を維持し全額を道路整備に充てること。

意見書提出先

内閣総理大臣 総務大臣 財務大臣
国土交通大臣 衆議院議長 参議院議長

「鳥獣被害防止特措法」関連予算を、鳥獣捕殺ではなく自然林復元と被害防除に使うこと等を求める意見書

提出者 大原 儀郎

野生鳥獣による作物被害は増大し、被害防除が個人の努力で対応できる範囲を超える中、「鳥獣被害防止特措法」の関連予算を歓迎しています。

近年、野生鳥獣が田畑に出てくるのは、人間による自然破壊行為により、鳥獣がすみかやえさ場を失い、本来の生息地に住めなくなったことによります。

私たちが取り組まなければならないことは、鳥獣がえさを求めて人里に出てこざるを得なくなった根本原因に対する対策です。野生鳥獣による農作物被害問題は、鳥獣の生息地復元などで対応すべきです。

鳥獣捕殺に躍起になっていると、森の荒廃を進め水源を失い農家は今以上に困窮することとなり、都市住民の生活、産業も成り立たなくなります。

人間の生存を保障する豊かな森の形成には、全ての動物が必要で、鳥獣の生息地復元により鳥獣被害問題にあたるのが正しい解決法です。豊かな森の復元は今や大問題になつてきている地球温暖化防止対策にも有効であり、次の事項を要望します。

ア、「鳥獣被害防止特措法」の関連予算が、野生鳥獣捕殺優先ではなく鳥獣が帰れる広葉樹の自然の森の復元、当面の被害防除に優先的に使われること。

イ、現在、銃による凶悪犯罪が急増しています。絶対に日本を銃社会にはなりません。「鳥獣被害防止特措法」第9条の「鳥獣被害対策実施隊」の項では、一定の場合に限り市町村職員等の実施隊員に銃の所持を認めています。が、実施隊員に安易に公費で銃を持たせないこと。他二件

意見書提出先

農林水産大臣 環境大臣

補助金等で整備した施設の有効活用を求める意見書

提出者 農本 規仁

これまで、地方公共団体は住民の福祉向上を図るため、国、県の補助金等を活用した様々な施設を整備し、住民福祉の向上に努めてきました。

しかし、急速に進む少子高齢化や人口自然減に加えて若者の地方流失に歯止めがかけられない状況等から、利用頻度が低下した施設が増加し、さらに、市町村合併による施設の統廃合に伴い、補助金等で整備した施設の遊休化が急速に進んでいるのが実状です。

地方公共団体は施設の有効活用を図るため、地域の実情にあった転用を求めています。が、ほとんどの目的に転用できる取り扱いと、基本的に目的の範囲内に限定している場合などがあり、市町村合併により強化を図ろうと模索する地方公共団体の実態と、都市部とを同じ基準で判断することは無理があると思います。

地域再生法は、地方公共団体の自主性及び自立性を尊重しつつ施策を総合的に策定するとして、「地域再生計画の認定制度に基づく法律上の特別の措置」を講じています。

そこで、特別の措置のうち、「補助対象財産の転用手続きの一元化・迅速化」においての各省庁の取り扱い、各自治体の自主性及び自立性を重視し、地域産業の振興や教育、福祉の向上などに寄与できるよう、「地方公共団体の意思決定」を尊重し、柔軟に転用できるよう、「補助対象施設の有効活用について」更なる弾力的な運用を求めるものです。

意見書提出先

内閣総理大臣 厚生労働大臣 総務大臣
財務大臣 文部科学大臣 農林水産大臣



全員再選されました。議会の出来事をありのままお届けします。左から野村、福原、片岡、農本、西森、尾崎局長、三鈴さん、若藤議長。(編集風景)

日 記 帳

20年	1月2日	成人式	15日	県議長会監査・理事会 (高知市)	16日	自衛隊入隊・入校激励会 (高知市)
	20日	消防出初式	25日	県議長会定期総会(高知市)		池川自然学園卒園式
	21日	議会だより特別委員会	3月1日	仁淀・佐川高校卒業式	20日	大崎・池川・別府小卒業式
	25日	道路特定財源勉強会	4日	幹線林道小田・池川線開発促進協議会	21日	長者小卒業式
29日	議会だより特別委員会		11・12・13日	総会(内子町)第2回定例議会	22日	名野川小卒業式
2月8日	第1回臨時議会		15日	町内全中学校卒業式	26日	行政改革推進委員会
					30日	中津観光開き

コ ラ ム



自主消防

高齢者になりましたが、地域の方々の協力によりまして、火災もなく今日に到っております。

防火安全の意識を高めよう。
久喜自主消防になって28年になります。

全国統一防火標語は「火は見るあなたが離れるその時を」火災は火から目を離れた一瞬のスキに発生する。

まずそのことを一人一人が十分に銘記していただきたい。
短い時間でも離れる時は必ず火を消す習慣を身に付ける事が命と

財産を守ることです。

火災は自然災害とは異なり予防の心構えがあれば未然に防げる。普段から火災について家族が話し合い備えていきたい。

全国では火災が毎日のお互いにおきています。お互いに火災を起こさないように気を付けていきましょう。

自主消防代表

久喜 片岡君雄

編 集 後 記

花やかな季節が続いて風薫る五月へ。芽吹きの新緑は力がみなぎっているようです。(三鈴)

窓の外では桜が散り、だんだん暖かくなり、屋外での活動が楽しくなる季節がきました。(尾崎)

四月から高知新聞の文字が少し大きくなり読みやすくなった。老眼に優しい文字拡大だ！(福原)

うらかな春の陽気につまれ、桜、菜の花、ツツジ、鮮やかに咲き乱れる此の頃かな(野村)

今年は水量がいい。天然アユ、放流アユの挙つての遡上が楽しみだ。太公望の腕が鳴る。(片岡)

五人全員、編集委員に再任されました。より見やすい広報になるよう二年間頑張ります。(農本)

二回目の全国学テがあった。今年の結果は？。「読書は学力に比例」とのデータもあるが。(西森常)